

復興大臣の動き

西銘恒三郎復興大臣宮城県訪問



仙台レインボーハウス



玉浦西地区



鳥の海地区



(株) やまもとファームみらい野



震災遺構中浜小学校

4月9日に西銘恒三郎復興大臣が、**仙台レインボーハウス**（仙台市）・**鳥の海地区**（亶理町）・**玉浦西地区**（岩沼市）・**(株) やまもとファームみらい野**・**震災遺構中浜小学校**（山元町）を訪問し、視察及び関係者との意見交換を行いました。

最初の訪問先となった**仙台レインボーハウス**では、西田正弘所長より東日本大震災直後の被災地を回った活動や震災遺児支援についての説明を受け、子どもたちのグリーンケアとして設置されている3つの部屋を視察しました。**鳥の海地区**ではわたり温泉鳥の海屋上で山田周伸亶理町長より被災・復興状況についての説明を受けた後、鳥の海公園スケートボードエリアにて、地域おこし協力隊として町に移り住み活動しているスケートボーダーの演技を見学しました。**玉浦西地区**では、菊地啓夫岩沼市長や玉浦西まちづくり住民協議会の森博会長にいち早く集団移転を進めた地区としてのコミュニティーの状況、住民等による高齢者の見守り活動について説明を受けました。途中、集会所で談笑していた高齢者の方々から「おかげさまでここまで来ました」と感謝の言葉をいただきました。**(株) やまもとファームみらい野**では、島田孝雄代表取締役社長より事業概要や震災後の状況についての説明を受け、選果場では3月の地震被害があった箇所も視察しました。生産した干芋や栽培中のいちごを美味しく試食されました。最後の訪問先である**震災遺構中浜小学校**では被災状況などの映像を視聴した後、齋藤俊夫山元町長（当時）に説明を受けながら被災時に避難し一夜を過ごした屋根裏部屋など、被災したままの状態で見学された小学校内を視察しました。

宮城県訪問の最後に行われた記者会見で、大臣は「現場に向向いて被災地の皆さんの声を聴いて、寄り添って復興に取り組んでいかなければという思いを改めて強く感じた」と述べました。